



今年初めての水遊び！
(上灘保育所 プール開き 7月9日)

いよ

平成30年



議会だより

6 月定例会

【特集】新しい議会構成が決まりました！

ズバリ！新正副議長に聞く・・・・・・・・・・ 2

常任委員会報告

クラフトの里『道の駅』登録・・・・・・・・・・ 4

「一般質問」の様子をのぞいてみませんか？・・・・・・ 6

一般質問「8人が市政を問う」・・・・・・・・・・ 7

政務活動費を公開します！・・・・・・・・・・ 16

連載企画

伊予市の議員を紹介します！・・・・・・・・・・ 17

きらきら・人 い〜よ¹⁴

誰にもやさしい伊予市にしたい！・・・・・・・・ 18

No.53 平成30年8月1日発行

編集／議会広報調査特別委員会

ズバリ！ 新正副議長に聞く！

新しく就任された
正副議長にインタ
ビューしました！



さを持って臨みたい！

議長 佐川秋夫



○抱負は？

佐川議長

議会の代表として議長を拝命し、重責に身の引き締まる思いです。

市政に対し、厳しさと柔軟さを持って臨み、市民の皆様信頼される議会運営を目指します。

北橋副議長

議長のおきパートナー、サポート役として議会運営に邁進していきます。

市内外の皆様が住んで良かった、住んでみたいと思っただけのまちづくりを目指します。

○どのような議会を？

佐川議長

若手とベテランがともに協力して議会側から政策提案できる力を付けてほしいです。昨年制定した議会基本条例のもとに、議員間討議に積極的に取り組みます。また、議会報告会等で市民の皆様意見を聞きながら、議会として市政に対して有効な提言を行いたい。

北橋副議長

開かれた議会運営は時代の趨勢です。常に市民目線に立った議員の活発

委員会には、議会を円滑に運営するための協議をする議会運営委員会や市の仕事を各分野に分けて審査する3つの常任委員会があります。今回は、各委員会から残りの任期（約1年間）の活動目標などを聞きました。

議会運営委員会のメンバーと各常任委員会の正副委員長が新たに選任されたよ！

ミカンまる



総務委員会

伊予市をPRして移住促進を！

昨年開設した伊予市移住サポートセンター「いよりん」をはじめ、移住定住に向けた取り組みを推進していきます。伊予市の魅力を全国にどんどんPRしていけるような施策を後押しできるよう、私たち委員会も勉強会などを重ね、政策提案につなげたいと思います。



議会運営委員会

議会運営を正しく円滑に進めます！

今年度は、伊予市議会初の予算審査特別委員会を設置し、これまで各常任委員会に付託していた当初予算案を議員全員で審査することになりました。議員全員が共通認識を持つことで、さらなる審議の可能性が期待できます。そのスムーズな議会運営に尽力していきます。



市政に対し、厳しさと柔軟

副議長
北橋豊作



■プロフィール
現住所：稲荷
特 技：植物を育てること
趣 味：野球観戦
座右の銘：人生は「50 対 50」

な討議が不可欠です。議会をより身近に感じてもらいたく改革に取り組んでいます。

○市民の皆様へメッセージを！

佐川議長

市民の皆様は議会を少しでも身近に感じていただくため、現在発行している「議会だより」において、若手中心の編集委員が調査、研究し、紙面を大幅にリニューアルするなど、地道な改革を行っております。ぜひ手にとって読んでいただき、できれば傍聴にもお越しください。議員一同お待ちしています。

北橋副議長

市民一人ひとりの声が反映できる、目配り・心配り・思いやりのある議会を目指します。「教育は国家百年の計」本格的な人口減、少子化時代を迎えた今こそ、人を大切にする教育環境を築き上げる時代です。さまざまな行政課題に取り組み、市民が輝けるまちを目指します。

私たちが聞きました！



おおの議員 ひらおか議員

委員会から一言！

— 任期中の意気込みを語ります —

産業建設委員会

「道の駅」完成！地域活性化を！

いよいよ中山スマート IC 開通を 31 年度末に控え、クラフトの里を「道の駅」に登録し、8 月下旬にオープンする運びとなりました。これを機に市内外から注目されるような施設を目指し、私たちと一緒に盛り上げて、地域活性化に向けて邁進していきます。



田中(弘)委員
正岡委員
日野委員
吉久副委員長
大野委員長
水田委員

民生文教委員会

市内に公立認定こども園の設置を！

本市は、民間の認定こども園はありますが、公立の認定こども園はまだ設置していません。昨年先進地である千葉県山武市の取り組みを視察し、多くのことを学びました。今年はその成果を行政に提案し、早期設置に向けて調査研究をさらに重ねていきます。



平岡委員
門田委員
北橋委員
久保委員
谷本委員長
川口副委員長

いよいよ8月下旬に『道の駅なかやま』としてオープンするクラフトの里。平成31年度末に供用開始予定の中山スマートICとの相乗効果で中山地域のさらなる活性化が期待される。

常任委員会 審査報告

クラフトの里『道の駅』登録

8月下旬の
オープンを
向けて

駐車場整備やテナント料金を設定

産業建設委員会

「道の駅」登録に伴う 施設と駐車場の整備

問 駐車場改修について、第1駐車場と第2駐車場の間に農道（※）が存在しているが、道の駅化に伴う安全対策をどうするのか。また、駐車台数が現在の56台から51台に減少した理由は。

答 経済雇用戦略課

駐車場区域と農道部分を色分けすることによって視覚的に見てわかるような改修工事を実施するなど最善の策を講じる。駐車台数が減少した理由は、直近の交通量調査

の結果、国から大型車両8台分を確保するよう指導があったため、普通車等の駐車台数が減少した。

問 テナント料金の設定方法は。

答 経済雇用戦略課

現在のテナント料金単価（㎡当たり）を基本とし、次のような設定としている。

- ①屋内施設は同額
- ②多目的広場の屋根付き部分は屋内施設の半額
- ③多目的広場の露店区域は屋根付き部分のさらに半額

問 開館時間を条例で

もっと長く設定しておき、実際に運用する際、季節や時期により開

館時間を変更しては。

答 経済雇用戦略課

多くの道の駅が概ね午後5時に閉まり、レストラン等がそれ以後も開いている場合がある。8月下旬のオープンに向け、他の施設の運営状況を確認しながら検討したい。

民生文教委員会

「福祉総合相談窓口」 の設置

問 国の補助事業で、今回新たにモデル

事業として実施を計画しているわけだが、本事業の選定の経緯と、県内各自治体の実施状況は。



答 福祉課

事業選定の経緯として、現在本市では、庁舎1階部分において市民福祉部所管課がワンフロアで相談窓口業務を行っている。複数の課にわたる相談については、それぞれの課の担当者が一つの窓口を集まって対応しており、すでに横の連携を含めた相談体制は構築されているが、その役割を明確化し、さらに相談体制を強化する目的で今回のモデル事業を実施するに至った。また、県内各自治体における実施状況は、昨年度、県と宇和島市が本事業を開始しており、今年度は、本市のみが実施する予定である。

問

本市は「子ども総合センター」などすでに複数の相談窓口があるが、その兼ね合いと職員体制を含めた今後の予定は。

答 福祉課

現在ある複数の相談窓口は、これまでどおりの体制で対応し、今回設置予定の窓口は、その複数にわたる相談窓口の中心的な役割を担い、連携と情報の共有化を図ること、どのような事例にもすばやく対応ができると考えている。

また、職員体制と今後の予定は、現在のところ保健師と社会福祉士を中心として兼務する事務職員を含めた4人体制を考えているが、まだ検討段階である。本事業のため



できるだけ早い時期に設置を目指している「福祉総合相談窓口」
※写真は庁舎1階相談窓口の様子

総務委員会

に市民福祉部内に立ち上げたプロジェクトチームにおいて、今後、職員体制を含めた詳細を協議し、できるだけ早い時期に窓口の設置を目指したい。

自治総合センター 助成事業

事業の概要と助成金の増額は可能か。

答 総務課

本事業は、宝くじが社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備や安全な地域づくりと共生のまちづくり等に対して助成を行うことにより、地域のコミュニティ活動の充実強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業である。毎年広報区長協議会などで

周知を行い、地域からの要望を取りまとめて申請している。

助成金の増額の可能性については、自治総合センターの資金的な余裕がある場合に増額されるところを考えているが、本市としては、今後とも引き続き要望を続けていくことで増額につなげたい。

消防団第4分団 第6部詰所新築事業

問

消防詰所新築場所が既存の位置から移動しているが、利用面での影響はないのか。
また、今後の建設スケジュールは。

答 危機管理課

地元消防団が、県道沿いを希望しており、新詰所は管轄地域への出勤がさらに容易になる。
今後、建設費を31年度当初予算での計上を予定している。

議案等議員別表決結果一覧表

【○:賛成 ×:反対 ※若松孝行議長は採決に入っていません】

平成 30年第2回 (5月) 伊予市議会臨時会 (会期: 5月1日 1日間)		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決日
番号	件名	氏名	森川建司	吉久俊介	川口和代	向井哲哉	平岡清樹	高田浩司	大野謙司	門田裕一	日野猛仁	北橋豊作	佐川秋夫	谷本勝俊	正岡千博	田中裕昭	武智実	久保 榮	田中 弘	若松孝行	水田恒二	
議案第38号	伊予市教育長の任命同意について	議決結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	5月1日

※賛否の分かれた案件のみ記載しています。6月定例会の案件についてはすべて全会一致で可決されました。

水田 恒二 議員 (P13)

- 1 市理事者（関係者）の公共事業等の入札、請負に関連して
- 2 障害基礎年金の打ち切りについて
- 3 オストメイトの災害対策時の提案
- 4 自転車保険の加入促進
- 5 単独浄化槽の一掃と自然環境の改善

門田 裕一 議員 (P14)

- 1 東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向けた取り組みについて
- 2 公民館のコミュニティセンター化について
- 3 南海トラフ巨大地震の発生確率上昇について
- 4 中小企業の設備投資を促す制度について

正岡 千博 議員 (P15)

- 1 地域担当制度による伊予市の地域おこし
- 2 文化財伝承による郷づくり

傍聴お待ち
しています

※通告順（発言順）に掲載しています。



ミカンまる

「一般質問」の様子をのぞいてみませんか？



一般質問では、市長と議員が対面方式で議論を交わします。（写真は6月定例会一般質問の様子）



傍聴席

9月定例会の日程は8月初旬頃にホームページに掲載予定です。広報いよし9月号でもお知らせします。

おタイ

議会では、市の政策に関することから、身近な地域のことまで、多くのことが話し合われています。特に本会議における一般質問では、市長等と議員が直接議論をやりとりする真剣な様子が傍聴することができます。傍聴は当日の受付だけで簡単にできますので、本会議ならではの雰囲気ぜひ体験してください。

傍聴席案内図（庁舎5階）



一般質問

8人が市政を問う

6月定例会では、8人の議員が24件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。ここでは、全質問項目（下表）と質問した議員ごとに1～2問の質問を要約してお伝えします。なお、全文記録（議事録）は9月上旬に市ホームページ（<http://www.city.iyo.lg.jp>）の会議録検索システムに掲載しますのでご覧ください。

伊予市議会



川口 和代 議員 (P8)

- 1 食育を見える化
- 2 新庁舎のワクワク活用
- 3 交通事故の抑制

『色付きの質問』

は、次ページ以降に掲載しています！



クリベえ

平岡 清樹 議員 (P9)

- 1 高齢者を交通事故から守るために
- 2 「未来づくり戦略室」について

森川 建司 議員 (P10)

- 1 児童の安心・安全の徹底について
- 2 拉致被害者救出の運動に市を挙げて取り組み、解決を後押し
- 3 南海トラフ地震から市民の安心、安全を確保するために

向井 哲哉 議員 (P11)

- 1 地域コミュニティの拠点としての学校施設（体育館・グラウンド）の現状、整備について

大野 鎮司 議員 (P12)

- 1 就学援助における入学前支給を可能にするための対応について
- 2 子どもの安全安心について
- 3 市民の命を守る救命率アップのために
- 4 老朽化が進む学校施設について

※通告順（発言順）に掲載しています。

食育を「見える化」

みそ汁プロジェクトの普及を！

川口 和代 議員



(答弁) 今後検討を加えたい

問

学校給食センターでは、27年度から

食育推進を図るために

「みそ汁プロジェクト

※」が動いており、そ

の内容として、みそ汁ア

ンケートの実施、みそ汁

ポスターの募集など実施

しているが、その取り組

みを市全体で普及させて

はどうか。また、みそ汁

の塩分濃度測定や市の食

材を使った具だくさんの

みそ汁を推奨するなど、

市民にわかりやすい健康

づくりと食育推進をして

は。

答

行政が行う保育所

や幼稚園でのクッ

キング保育、保健セン

ターでの健康教室、地域

で食生活改善推進員が行

う料理教室や体験活動な

どさまざまな事業を行っ

ている。その中で、学校

給食センターが実施して

いる「みそ汁プロジェクト

」をどのような形で市

民の中に展開していける

か検討を加えたい。

問

市内には4つの「子ども食堂」が

あるが、それぞれの実態

を把握し、安心・安全な

環境にするためには市の

サポートが必要と考える

。例えば、フードドラ

イブを開催し、必要な場

所に提供してはどうか。

答

事業実施の働きかけ等を検討する。



※) みそ汁プロジェクトとは？

学校給食を通じ、地域の食材に関心を持ち、日本の伝統食の良さを生かした食生活を推進することを目的として、現在学校給食センターと市内小中学校が連携して実施しています。



郡中地区子ども食堂の様子



先般、愛媛新聞において、八幡浜市社会福祉協議会が中心となり、フードドライブの取り組みを行うとの報道があった。本市においても、八幡浜市と同様に社会福祉協議会での取り組みが望ましいと考えるため、今後、事業実施の働きかけ等を検討する。

新庁舎のワフワフ活用

問

庁舎内の多目的スペース（1階）や

海の見えるラウンジ（4

階）などを有効活用して、

ワフワフする企画を考え

答

実現可能かどうか再度検討する。

ではどうか。例えば、伊予彩まつりで車椅子を使用する障がい者の方に花火観覧席としてラウンジをプレゼントしたり、空いているスペースを利用して市民の作品展を催したりしてはどうか。

市の財産は、市民共通の財産であり、持続して適正な管理をするには一定ルールの下、秩序保持と公平性が何よりも重要と考える。障がい者の皆さんに4階を開放する案が実際に実現可能かどうか、また、どのような問題が発生するのか、再度検討したい。



庁舎の有効活用を期待！（写真は海の見えるラウンジ）

『未来づくり戦略室』

どのような任務・役割を担っているの？

平岡 清樹
議員



(答弁) 市の未来をつくる司令塔的役割

問

市長、副市長の直属であり、部署として特殊性が高く、夢のある室名が先行していることもあり、市民からどのような業務を行っているのか等の意見がある。

業務内容に「戦略・推進・改革・計画・促進・普及拡大・対策・特別事項」といった非常に前衛的な言葉が並んでいる。具体的には、時代に沿った行政経営に対して愚直に取り組み、過去に捉われず行財政改革を断行し、近隣自治体に取り残されないための市の未来をつくる部署と考えるが、その点に関して異論はないか。

答

部署の任務、役割について、役所の機能がややもすると前例踏襲で保身的との批判が全体としてあることはご承知のとおりである。市長就任に当たって、このような内向きの思考では

なく、大胆かつ積極的な組織を展開するべきとの考えがあった。言い換え

ると、批判が出ないようなというネガティブな考え方ではなく、戦略を打ち出しそれを戦術的に具現化することを目指すのが未来づくり戦略室である。まだまだの感は否定しないが、その方向に向かっているものと確信している。

文字どおり市の明るい未来をつくるための司令塔として、またスピード感と行動力をあわせ持った専門集団として、行政運営のスリム化ほか重要施策を進めていく上でなくてはならない部署である。

問

市政運営に関して市民から肯定的な意見もあれば否定的な意見も聞く。市長が多忙なことは重々承知しているが、タウンミーティングを再び始めてはどうか。

答

必要性があるテーマがあれば開催の努力をする。

タウンミーティングについては、25年4月の市長就任後、同年5月から6月にかけて市内20カ所で開催し、延べ1300人を超える出席をいただいた。それ以来、市政懇談会、市民ワークショップ、市民フォーラム、市民議会など多様な手段、手法により市民の意見や要望の聴取把握に努めており、今後も機会を捉え市民参画の場を提供する。タウンミーティングが地方自治における有効な仕組みの一つであることは承知しているが、住民参



写真は昨年度開催した「市民討議会」の様子

問

高齢者を交通事故から守るために

昨年、伊予署管内の交通事故の死者数4人全員が高齢者であった。これまで市民に対し、交通安全に関してどのような啓発を行ってきたのか。

答

さらなる啓発活動を高めたい。

本市では、関係団体と春と夏、年末の交通安全運動や各キャンペーン、交通監視などに参加協力し、幼稚園や保育所、小学校への交通安全グッズの贈呈、反射材、その他啓発資材の配布、ホームページ等での交通安全啓発などを行ってきた。今後、不十分さには改善を加え、さらなる啓発活動を高めたい。

下校時の空白場所、 児童の安全対策は？

森川 建司 議員



(答弁) 各校区の実態に合わせ行っている

問 新潟県で女兒誘拐殺害という大変痛ましい事件が起きた。残念ながらこの種の事件は全国でも後を絶たず、本市も例外ではない。

本市の宝である子どもたちを守るためには、最悪の事態に備えた対策を取ることに尽きると考える。そこで、児童の下校時に目の届かない空白場所の対策はできているのか。また、地域総がかりの見守りにも限界があるため、性犯罪者情報の共有等について警察等と連携できるよう要望することはできないか。

答 家族や地域の方の目が届かない場所は無限にあると言っても過言ではなく、下校時の空白場所の定義づけは極めて困難な課題である。対策としては、集団登下校の実施、見守り隊やPTA校外指導部、教職員等の見守り活動の実施など、家庭、地域が連携を

とりながら各校区の実態に合わせて行っている。また、警察OBであるスクールガードリーダーの方から学校ごとに学期に1回は学校安全体制整備に向けた助言をいただき、安全・安心な環境づくりに取り組んでいる。性犯罪者についての情報連携と再犯防止については、警察や法の関係機関で適正に対応されており、本市として、性犯罪者等の情報を関係者で共有する、または、情報共有を県や国に要望する考えは現段階ではない。

拉致問題解決に向けて市を挙げて後押し

問 40年間解決していない拉致問題だが米朝会談が行われ、千載一遇のチャンスが訪れている。全面解決への道筋をつけてほしいと強く願う。そこで、市を挙げての取り組みの一つとして、地区別懇談会のテ

マとして拉致問題を取り上げ、本市の世論を盛り上げることで拉致解決の後押しできないか。

答 ご家族に寄り添った支援を継続して行う。

また、署名1万人を目指す期間限定の活動を提案する。特定失踪者の家族がいる自治体と連携し、本市が活動の主体となり、県や近隣自治体にも運動の輪を広げるように取り組んでは。

今年度の地区別懇談会では拉致問題を取り扱っていないが、懇談会会場における署名活動や10月に東温市で開催する大政悦子さんによる講演会の案内はできると考えている。これまでと同様に拉致問題も重要な人権問題であるとの認識のもとあらゆる機会を捉えて啓発し、研修の場の提供に努めたい。

期間限定の署名活動について、昨年度連絡会を中心に署名活動を行い、



拉致被害者救出署名活動の様子
(いよてつ高島屋前)

県内で一番多くの署名をいただいた。今後も大政さんの思いを酌み取りながら、ご家族に寄り添った支援を行い、期間限定ではなく協力いただける方と目を合わせ言葉を交わす署名活動を継続して行い、拉致問題を風化させないことが重要と考えている。

伊予中グラウンドの水はけ問題

早期の改善・改修を！

(答弁) 排水のための溝掘りをまず行う



向井 哲哉 議員

問

小・中学校の体育館やグラウンドは地域住民にとって、市民生活やまちづくりの拠点となる重要な施設である。学校施設は児童・生徒をはじめ地域住民が快適に、また安全に使用できるような計画的に整備が行われていると認識しているが、個別施設の状況をみてみると安全面において不具合が見受けられる体育館やグラウンドが存在する。

伊予中学校の南側グラウンドにおいては、少しの雨でも水浸しになり、排水能力の低さもあって不陸やぬかるみが生じやすくなっている。これが原因で部活動やその他の使用に支障を来している状況を把握しているのか。また、どのように対応するのか。

答

伊予中学校の南側グラウンドは、昨年10月に行われた新人体育大会の駐車場として提



雨上がりの水たまりの様子 (伊予中学校南側グラウンド)

供したところ、乾いて整地ができる状態になるまでに2日、さらにトンボ等で整地をして元通りになるまで何日もかかるとの報告を受けていた。これは使用上の注意（あらかじめ指示した駐車ルール）が守られなかったことが主要な原因と考えている。なお、整備に工夫を凝らすため、今年度は排水のための溝掘りを行いその様子を見ることとしている。

問

伊予小学校の体育館は5年前の床改修工事以降、他の体育館と比べて非常に滑りやすくなってしまうようである。実際に利用している方から、常にけがのリスクを背負いながらの利用で危険との声がある。滑りやすい原因として、ほこりや汚れが取れていない、水ぶき、ワックスがけをしている等が考えられるが、現在、適切な管理がされているのか。

また、5年前の改修工事は問題なかったのか。

答

工事そのものに問題はないことを確認している。

伊予小の体育館の床面については、5年前に工事を行い、通常行う体育館の床工事と何ら変わるものではなかった。したがって、この工事そのものが原因で他の体育館に比べて滑りが発生しているとは考えにくい。工事直後にもそのような話があったと聞いているが、



床の滑り防止に水で湿らせた雑巾を常に用意し、都度シューズの底をふいて利用している。(伊予小学校体育館)

その時にも工事そのものに問題はないことを施工業者から確認している。汚れがひどい場合の対応策として、弱酸性の薬剤を使うということもあるが、これはウレタン塗装にはよくないという前提がある。よって、中性洗剤を水で薄めて、雑巾を強く絞って拭いた後、さらにカラ拭きをする対応が必要になるという指導をいただいている。

下校時の子どもの安全対策

新入学児童へ防犯ブザーの配布を！

大野 鎮司 議員



(答弁) 今後、新入学児童へ配布する。

問

郡中校区では、小学校の登校時、地域住民、民生委員、愛護

班の方など多くの方が子どもの安全のために見守り隊をしていたらいており、本当に安心で心強く思う。その反面、全国では子どもが被害に遭う痛ましい事件や事故が後を絶たず、新潟の小学女児殺害事件では、下校時に自宅近くで友達と別れた後に事件に巻き込まれた。この事件は決して他人事ではなく、本市の未来ある子どもたちに対する安全対策にやり過ぎということはない。

そこで、安全対策の一つとして、新入児童全員に「防犯ブザー」の配布を提案する。学校によっても配布していないところもあり、統一されていない。防犯ブザーは身につけているだけで事件に対する抑止力にもつながるため、毎年配布してはどうか。

答

防犯ブザーについては、これまで年度ごとに希望のある小学校のみ、予算の許す範囲で新入学児童に対して購入していた。そのため学校により対応に差があったことから29年度においては購入しなかった。しかし、統一した取り組みとして購入することからの、今後、防犯ブザーを新入学児童へ配布するようにしたい。

問

下校時に1人で帰っている子ども



「防災ブザー」を身につけておくだけで抑止力の効果がある。

答

今後さらに地域の方にご協力いただく。

下校時の安全対策について、本来、子どもの安全確保は保護者によるところが大きいと考えられる。家庭教育の中で自分の命は自分で守ることを徹底するとともに保護者自身が見守り活動に積極的に参加することが求められているが、現状は保護者による見守り活動に

たちをよく目にするが、下校時間はさまざまで、下校時も見守り隊の方にお願いするのは負担も大きく時間的にも無理がある。

そこで、郵便局の配達員や配送業者、また、普段ウォーキングやジョギングなどをされている方に見守りワッペンなどを渡し、下校時に地域で配達したり、散歩や運動しているときに、子どもや不審者を意識していただくように協力依頼してみよう。

その際、一部の方に負担がかかるのでは長続きしないため、形にとらわれず大勢の方に参加していただき、安心・安全に登下校を進めたい。

は限りがあり、どうしても地域の方に協力をいただく必要がある。

これまでも、見守り隊をはじめ地域の方に協力をいただいているが、今後、さらに地区別懇談会や補導委員会、青少年センター運営協議会など、さまざまな機会を捉えて広報区長をはじめ、各種団体や地域の方に声掛けをしていきたい。

その際、一部の方に負担がかかるのでは長続きしないため、形にとらわれず大勢の方に参加していただき、安心・安全に登下校を進めたい。



下校時に1人になると危険度が増す。

災害時のオストメイト用トイレ対策

公的保管(備蓄)をしては！

(答弁) 実施に向け検討する



水田 恒一 議員

問

全国で約20万人以上いるといわれるオストメイト(※1)だが、現在本市では何人いるのか。そのオストメイトが災害時において避難する際、ストーマ装具(※2)などを確実に持参できる可能性は低いと考える。

その改善策として、希望するオストメイトから本市が直接装具を預かり、劣化しないような環境のよい場所(公的施設)で保管してはどうか。

答

現在、本市においてストーマ装具を日常生活用具として支給しているのは70名であり、ストーマ装具は一人ひとりの状況に合わせた装具の調整が必要で、種類も多岐にわたっている。

災害時では、まず第一に、自らが避難時の持ち出し用に事前に準備していただくことが重要だと考える。しかしながら、個人で持ち出し用に準備

していても、いざというときに確実に持ち出せるとは限らず、公的施設に預けて保管しておくことは有効な手段であると考えられるため、実施に向けて場所や方法について検討したい。

問

使用装具の保管が難しいオストメイトのために、販売業者と物資供給協定を締結して、緊急時に対応できるようにしては。

答

県を通じて要請する方向で対応する。
販売業者との物資供給協定については、県が災害時における被災者支援に関する協定を県薬事振興会と締結しており、必要な事態が発生した場合は、県を通じて要請する方向で対応していく。

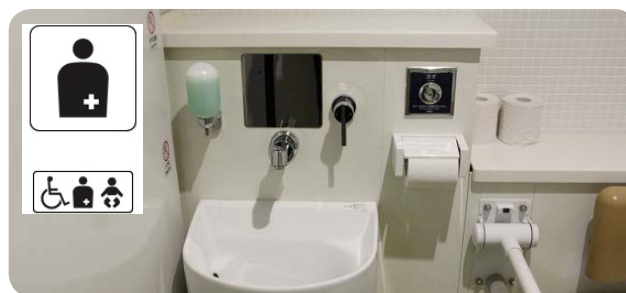
(※1) オストメイトとは？

癌や事故などにより消化管や尿管が損なわれ、腹部などに排泄のための開口部

(人工肛門・人工膀胱)を造設した人のことをいう。

(※2) ストーマ装具とは？

人工肛門や人工膀胱から排泄される尿や便を貯留するための装具のこと。



本庁舎に設置しているオストメイト対応トイレ
※写真左上はオストメイト対応トイレの表示

市職員関係者の公共事業の入札・請負

問

市長をはじめ市管理職の親族等が市関連の入札や請負、業務提供や物品納入に対して参加することは控えるべ

きと考えるが、どのような認識が基本的考えを教えてほしい。

答

公正性に対して疑義もたれないよう留意する。

地方公務員の勤務条件や服務については、地方公務員法に定められており、同法第38条では、営利企業等に従事することについて厳しい制限が設けられている。

しかしながら、親族に対する規制はないことから、職員やその親族に対して文書等をもって規制することはしておらず、今後その予定はない。

一方、倫理上の取り扱いとしては、特に身の近い親族が市の入札等に参加すること、職務の公正性に対して疑義がもたれることのないよう職員は留意しなければならないと考えている。公務員には、高い行為規範が求められていることを職員間で共有したい。

南海トラフ地震対策

女性視点の防災ブック作成を！

門田 裕一 議員



(答弁) 啓発材料の一つとして活用を考える

問 国の地震調査委員会は、南海トラフ

沿いで、マグニチュード8から9の大地震が30年以内に起こる確率を70%程度から80%に高まったと発表した。

被災者の目線に合わせた備えを行うことは極めて重要で、特に女性に配慮した避難所での授乳や着がえの問題などが挙げられる。このような細やかな配慮の必要性に気づくことのできる女性ならではの視点を生かし、今こそ女性の防災への参画を促して、一層きめ細やかな災害への備えを促進する「女性視点の防災ブック」の作成が重要であると思うが、どのように考えるか。

答 本年3月に東京都

が「東京くらし防災」を発刊した。手軽に持ち運べるポケットサイズのB6判の全164ページの本で、日常の暮らしの中でできる減災対

策や災害発生時の行動、避難生活の中でのノウハウを女性の視点から漫画やイラストなどを使ってわかりやすく解説している。

平素からの減災対策はもちろんのこと、南海トラフ地震のような大規模災害時の避難所運営にと



漫画やイラストがわかりやすい！



東京都が発行した女性視点の防災ブック「東京くらし防災」※一部抜粋

っても、女性の視点からの配慮が重要な要素であり、防災啓発の材料の一つとして、この本の活用を考えてみたい。

中小企業の設備投資を促す制度

問 国が「生産性向上特別措置法案」を

5月に可決し、6月に施行されたことで、今後3年間、中小企業の設備投資を促し、生産性向上を図ることを目指すことになった。条件を満たせば、新規取得設備の固定資産税が3年間ゼロとなった

り、各種補助金が受けられたりと事業者にとって魅力ある制度である。そこで、これまで対象となる中小企業者に対して、どのように情報提供したのか。また、積極的に制度の活用推進を図るべきと考えるが、今後事業者に対してどのような啓発をする予定なのか。

答 ホームページや事業者を通じて行う。

今回の制度は、新たな法整備に伴う事業であるため、事前周知については、国において実施されているが、本市においても促進基本計画を策定次第、ホームページに掲載するほか、商工会議所や商工会を通じて事業者へ周知を行いたい。

問 中小企業者は年率3%以上の労働生産性の向上を見込む「先端設備等導入計画」を作成することになっているが、その誘導をどのように考えているのか。

答 認定を受けた支援機関が行う。

本事業の申請に関する支援や相談については、専門的な知識を有する商工会議所や商工会のほか、金融機関などの認定を受けた支援機関が行うことになっている。

参画と協働のまちづくり

地域担当制度の導入を！

(答弁) 有効な手段の一つと認識している



正岡 千博 議員

問

本市は、28年3月に第2次伊予市総合計画を策定し、市の目指す将来像と目標を明らかにするとともに、これらを実現するための基本的な施策の体系・方針等

を示している。この計画の「まち・ひと」ともに育ち輝く伊予市」という将来像を具体的に実現するための方策の一つが「地域担当制度」と考える。

この制度は、参画と協働のまちづくりの推進につながるかと考えているが、この制度に取り組んでいる各自治体の現状と本市として導入の考えは。

答

29年3月に地方自治研究機構が発表した調査では、全国市区町村の約30%が制度を導入し、県下においては、西予市、宇和島市、伊方町が導入している。

本制度が参画と協働のまちづくりの推進につながるという点については、参画と協働を進めて

いく中で、有効な手段のひとつであると認識している。

過去に住民自治組織の組織化を進めるため、市民と市をつなぐパイプ役として、職員地区担当制の創設について協議した経緯があり、議員から提案もいただいたが、結論を得ないまま現在に至っている。このことを踏まえても、制度導入には地域住民の意向と本市にあっては人的、財政的問題を解決する必要がある。



平成28年3月に策定された「第2次伊予市総合計画」
※写真右側は計画を簡単にまとめた概要版

昨年度、自治基本条例に基づく参画協働推進委員会を組織した。この委員会では、市民の参画と協働に関する事項を調査協議する場であるので、地域担当職員制度について審議いただくなど、意見集約を行い、最終的な方向性を見出したい。

文化財伝承による郷づくり

問

本市には、数多くの県・市指定文化財や埋蔵文化財包蔵地がある。今後、このような文化財を後世に確実に受け継いで、市民が身近なものとして感じ、今までの以上に親しみ、自ら取り組める環境づくりを進めていくことが重要である。

そこで、本市の埋蔵文化財包蔵地の状況と、長い歴史の中で育まれた宝をどのように市民に伝承、共有し、それを郷づくりに生かしていくの

か、取り組んできた経過と今後の方針は。

答

市の歴史を語れるような取り組みを行う。

遺跡詳細分布調査において、現在、市内に埋蔵文化財包蔵地として認定している場所は319カ所あり、その内訳は、伊予地区284地区、中山地区16地区、双海地区19地区である。

文化財の利活用に関しては、毎年、各分野の文化財をテーマとした講演会や子どもたち向けの学習会を開催し、市内の文化財を巡るバスツアーや企画展の実施など、各種事業を展開している。

今後は、特に次代を担う子どもたちを中心に地域の特色を生かした内容を盛り込み、ふるさとを大切にする気持ちや地域への誇りを育み、一人でも多くの人が伊予市の歴史を語れるような取り組みを行っていききたい。



ハモのすけ

政務活動費を公開します！

平成29年度(29年4月～30年3月)における議員別の政務活動費の支出内訳を公開します。
※今年度から収支一覧表に加えて、領収書等を8月1日からホームページで公開しています。

〔平成30年4月現在〕

市	交付対象	交付額(年額)
松山市	議員	1,224,000円
東温市	議員	180,000円
今治市	会派/議員	360,000円
宇和島市	会派/議員	120,000円
新居浜市	会派	216,000円
西条市	会派/議員	180,000円
西予市	会派/議員	120,000円
伊予市	議員	120,000円

八幡浜市・大洲市・四国中央市は交付なし。

○県内11市の交付額は？

※本市では、「政務活動費運用の手引き」に基づいて運用しています。

政務活動費は、主に研修への参加や会議資料の作成費として使用されています。

政務活動費は、主に研修への参加や会議資料の作成費として使用されています。

地方自治法並びに市の条例に基づき、議員の調査研究その他の活動に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、本市は、1人当たり年額12万円を交付しています。

○政務活動費とは？

平成29年度 政務活動費収支一覧表

議席番号	氏名	交付額A	執行額B	差引額A-B	戻入額※	支出科目								
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費
1	森川建司	110,000	124,738	△ 14,738	0	61,880							62,858	
2	吉久俊介	110,000	0	110,000	110,000									
3	川口和代	110,000	52,758	57,242	57,242								52,758	
4	向井哲哉	120,000	121,773	△ 1,773	0	62,580	18,000					7,170	34,023	
5	平岡清樹	120,000	131,900	△ 11,900	0	9,800		122,100						
6	高田浩司	120,000	123,606	△ 3,606	0	63,780	13,200					6,478	4,724	35,424
7	大野鎮司	120,000	155,635	△ 35,635	0							153,235	2,400	
8	門田裕一	120,000	118,974	1,026	1,026	14,300						41,085	63,589	
9	日野猛仁	120,000	21,804	98,196	98,196		6,000					13,404	2,400	
10	北橋豊作	120,000	125,321	△ 5,321	0	36,640	17,210						71,471	
11	佐川秋夫	120,000	46,620	73,380	73,380		46,620							
12	谷本勝俊	120,000	127,663	△ 7,663	0		46,280					10,091	71,292	
13	正岡千博	120,000	123,867	△ 3,867	0	63,080	6,000					15,547	39,240	
14	田中裕昭	120,000	116,485	3,515	3,515		40,280					11,507	64,698	
15	武智 実	120,000	0	120,000	120,000									
16	久保 榮	120,000	120,513	△ 513	0	63,080		31,013				26,420		
17	田中 弘	120,000	161,860	△ 41,860	0	61,880	37,980	62,000						
18	若松孝行	120,000	67,190	52,810	52,810		40,620						26,570	
19	水田恒二	120,000	299,971	△ 179,971	0			297,971	2,000					
合計 19名		2,250,000			516,169	437,020	272,190	513,084	2,000	0	0	284,937	496,023	0 35,424

連載企画 第1回目

伊予市の議員を 紹介します！

- ①：上三谷
- ②：「黒霧のお湯割り」を飲むこと、特技は空手
- ③：世のため、人のため
- ④：「取り戻す 拉致被害者を 今年中」「大谷の 清き流れを 永遠に継ぐ」(川柳風で)



もりかわ けんじ
森川 建司 議員

- ①：米湊（湊町出身）
- ②：マスキングテープ、一筆箋の収集、箱根駅伝の観戦
- ③：教師
- ④：女性目線で、伊予市をキョロキョロして、各世代をサポートしていきます！



かわぐち かずよ
川口 和代 議員

- ①：上野（上野団地）
- ②：釣り、ロードバイク
- ③：自動車修理屋
- ④：伊予夢創会という伊予の夢を創る熱い仲間と5人で会派を結成しました。「伊予市がこんなまちになるといいな」という夢を創造していきます！



ひらおか せいき
平岡 清樹 議員

- ①：下吾川（烏ノ木団地）
- ②：旅行、イベントの企画
- ③：社長でした！（笑）
- ④：子育て支援施策は、高齢者福祉支援にも通ずる！との思いで人口減に歯止めをかけるべく、「子育て支援の大野」でこれからも頑張ります！



おおの しんじ
大野 鎮司 議員

市民の皆さんに伊予市の議員を少しでも身近に感じていただくために、連載企画として議員全員の簡単な紹介をします！



ミカンまる

- ① 住まい
- ② 趣味・特技
- ③ 子どもの頃の夢
- ④ 市民の皆様へ！

※今回は紙面の都合上8人の掲載（議席順）とします。残りの議員は次回以降に掲載する予定です。

- ①：双海町上灘
- ②：釣り、将棋、読書、特技は素潜り
- ③：映画「007」に憧れ、国の調査機関か「MI6（機密情報部）」に入ること
- ④：「与えられた任務は必ず遂行する」という気概を持ち、市の発展に努めたい！



よしひさ しゅんすけ
吉久 俊介 議員

- ①：上野
- ②：クワカブ（クワガタ・カブトムシ）採集（クワカブが飛んで来る木を「五感」を研ぎ澄まし、探しあてることができる）
- ③：カブトムシ屋さん
- ④：各世代の皆様が笑顔で暮らしていけるよう目の前のことに全力で取り組んでいきます！



むかい てつや
向井 哲哉 議員

- ①：森
- ②：スポーツ観戦、ウォーキング
- ③：プロ野球選手
- ④：子育て支援の充実や生涯学習、また、スポーツの推進に力を入れていきます！



たかた ひろし
高田 浩司 議員

- ①：八倉
- ②：映画観賞と写真撮影、特技は映像編集
- ③：映画監督
- ④：安心・安全なまちづくりをあなたとともに



かどた ゆういち
門田 裕一 議員



誰にもやさしい 伊予市にしたい！

愛媛県手話通訳問題研究会

もりかわ み え こ
会長 森川 美恵子さん

Profile 大阪府生まれ。上三谷在住。厚生労働大臣公認手話通訳士（愛媛県第1号）、愛媛大学非常勤講師、全国手話検定委員など数多くの資格や肩書きを持ち、マルチで活躍している。



●手話をはじめたきっかけは？

約40年前に、高松市で魅力的な聴覚障がい者の方と偶然出会い、その方とたくさん話してみたいと思ったのがきっかけです。

●やりがいとは？

手話や手話通訳活動を通じて、聞こえない人と聞こえる人が、さまざまな場面でわかり合え、良い方向を見出せる瞬間に立ち会えること。また、人が変わっていく瞬間をそばで立ち会えることにやりがいを感じます。

●思い出に残る出来事は？

最近では、昨年「愛顔（えがお）つなぐえひめ大会」において、全体会場の手話ボランティア約500名の養成や会場配置の担当、また、陸上競技では全体総括を任されたことです。大会期間中、早朝から夜遅くまで、競技の支援や競技後の打ち合わせを連日行い、

大変でしたが、大雨の中でもボランティアの皆さんと一緒に支援したことを競技する選手や来場者の方に大変喜んでいただけたことが一番心に残る出来事でした。

●今後の活動は？

手話全般の活動を通じて、障がい者への理解をこれまで以上に広め、「誰にでもやさしいまちだから、伊予市に住んでみたい、住んでよかった。」と言われるまにするための活動を続けていきたいと思っています。そのためにも、私たちと一



多くの方が熱心に手話の勉強をしています。(毎週木曜日に市庁舎で開催している手話講座の様子)



最近始めたヨガ教室は参加者に大変好評です。(毎週水曜日:上野地区公民館)

緒にボランティア活動に賛同する人の輪を一人でも多く広げていきたいです。また、一昨年、全米ヨガアライアンス認定講師という資格を取得し、早速ヨガ教室をはじめたので、障がい者の方にも参加していただけるように活動を続けていきたいと思っています。

●市に期待することは？

障がい者に関する問題はなかなか理解されにくい部分があるため、マイノリティ（少数派）の声なき声や意見がこれまでに届きやすい体制づくりを期待しています。

編集後記

このたびの西日本豪雨により被災された皆様方に対し心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福と早期の復旧を心よりお祈り申し上げます。今回の災害を教訓に地域の防災・減災対策の重要性を再認識するとともに、これまでとは異なる次元の対策が必要であると痛感しました。

さて、今回の議会だよりですが、少しでも市民の皆様と議員（議会）との距離感を縮めたいという思いで編集しました。新しく議員の似顔絵やプロフィールを17ページに掲載しましたので、他記事と合わせて人となりを感じていただければ幸いです。

議会広報調査特別委員会

〔委員長〕平岡清樹

〔副委員長〕向井哲哉

〔委員〕北橋豊作

大野鎮司

川口和代

吉久俊介

森川建司

よしひさ議員

